

## 令和8年第1回塩尻市辰野町中学校組合教育委員会会議録

令和8年第1回塩尻市辰野町中学校組合教育委員会が、令和8年3月24日、13時00分、北小野地区センターに招集された。

### 会 議 日 程

#### 1 開 会

#### 2 会議録の承認

#### 3 教育長報告

- |       |                              |
|-------|------------------------------|
| 報告第1号 | 校長、教頭の人事異動について               |
| 報告第2号 | 令和8年度両小野中学校の休業日に係る専決報告について   |
| 報告第3号 | 教育委員会事務局4月1日付人事異動について        |
| 報告第4号 | 教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について |
| 報告第5号 | 長野県公立高等学校入学者選抜の結果について＜非公開＞   |

#### 4 その他

- |        |                       |
|--------|-----------------------|
| その他第1号 | 塩尻市辰野町中学校組合議会附議案件について |
| その他第2号 | 令和8年度年間予定について         |

#### 5 校長報告

- |       |                    |
|-------|--------------------|
| 報告第1号 | 全国学力・学習状況調査の結果について |
|-------|--------------------|

#### 6 その他

#### 7 閉 会

#### ○ 出席委員

- |          |       |
|----------|-------|
| 教育長      | 佐倉 俊  |
| 教育長職務代理者 | 両角 東平 |
| 委員       | 小澤 晃  |
| 委員       | 小幡 洋美 |
| 委員       | 小澤 秀樹 |

#### ○ 欠席委員

#### ○ 説明のため出席した者

- |           |       |
|-----------|-------|
| 両小野中学校長   | 富田 章  |
| こども教育部長   | 百瀬 一典 |
| こども教育部次長  | 竹中 康成 |
| (こども未来課長) |       |

○ 事務局職員出席者

|                         |       |
|-------------------------|-------|
| 学校教育課長                  | 上條 崇  |
| 教育施設課長                  | 五味 克敏 |
| 学校教育課課長補佐<br>(児童生徒支援係長) | 小松 義宏 |
| 学校教育課課長補佐<br>(教育企画係長)   | 浅川 忠幸 |
| 学校教育課学校運営係長             | 牧野 令  |
| 学校教育課教育企画係 主事           | 瀧沢 快斗 |

○ 本日の会議に付した議事

会議日程に記載のとおり

1 開 会

**佐倉教育長** 皆さん、こんにちは。先週3月18日になりますが、両小野中学校を含む塩尻市内の6校、中学校の卒業証書授与式が行われました。卒業生たちは大きな夢を持って、母校を巣立っていったかなと思います。別れと出会いの春を感じる日々であります。

本日は御多用のところ、御出席をいただきまして誠にありがとうございます。

それでは、ただいまから令和8年第1回塩尻市辰野町中学校組合教育委員会を開会いたします。よろしくお願いいたします。

2 会議録の承認

**佐倉教育長** それでは2番、前回会議録の承認について事務局からお願いします。

**瀧沢学校教育課教育企画係主事** 前回、令和7年第3回教育委員会の会議録につきましては、既に御確認をいただいております。本会議終了後に御署名をいただきますので、よろしくお願いいたします。以上です。

**佐倉教育長** よろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

**佐倉教育長** では、そのようにお願いいたします。

3 教育長報告

**佐倉教育長** 続きまして3番、教育長報告に入ります。私からは2点報告させていただきます。

最初に、1月31日のことになりますが、東京都市大学塩尻高校を会場に、第1回塩尻市みらい探究アワード発表会を開催いたしました。両小野中学校からは1年生と2年生の代表生徒が参加をしていただき、アントレプレナー学習で探究したことを発表してくれました。私は審査員として参加させていただきましたが、両小野中学校の生徒の発表は非常に課題意識が明確で、とても力強い追究をしているなど感じたところであります。

少し御紹介をさせていただきますと、まず1年生の追究のきっかけとなったのは、学校周辺の通学路のグリーンベルトでした。そこに着目して、登下校の際、グリーンベルトを歩いているのだけでも、自動車が近くを通ってきたりとか、非常に危険であるということに気づいて、その気づきから、ポスターを制作したりとか、小学校や保育園の子どもたちにも注意喚起をしていきたいとい

うものでした。ですので、具体的にはポスターを作り、その注意喚起を具体的にアクションに起こしていったということが、私はすばらしいと思って、発表を聞いていました。さらにということで、今後も歩行者への注意喚起だけではなくて、運転手の皆さんへの働きかけもしていきたいということで、次に向けての課題意識を持っている点もよかったと感じました。

続いて、2年生の課題意識であります。自分たちの住んでいる両小野地区に着目していました。なぜ両小野に人が来ないかということ課題意識として持っていて、その中から、両小野地区の魅力をもっと知ってもらいたいという願いから、パンフレット、マップ、スタンプラリーと、本当にクオリティの高いもの、私も幾つか具体的に見せていただきましたが、非常にクオリティの高いものを工夫して制作するという、やはりアクションにつなげている点が非常によかったなと思いました。

1年生も2年生もすばしかったのは、繰り返しになりますが、課題意識が明確だったということと、その課題解決に向けて、自分たちからアクションを起こしているということがとてもよかったと思います。実際、そのアクションまで起こしていくと、人との出会というのが広がってくるのではないかと思います。また、その出会った人たちからもリターンというか、フィードバックをいただきながら、また次の追究へつながっていくという学びのサイクルが回っているなということ、両小野中の子どもたちの発表を見ていて感じました。

今、御存じのとおり、全国的にというか、探究的な学びの必要性ということが言われています。ただ、ややもすると、学校は忙しいので、教師の側からこういうテーマでやったらどうかというように、テーマを与えてしまったがために、課題意識が子どもたちは弱かったり。調べるところまでは行くと。調べ学習まではやるのですが、調べ学習の発表で終わってしまって、今回の両小野中の子どもたちのように、自分たちでできることを考えて行動に移すという、そこまでたどり着かないで終わってしまうことが多くの学校であるかなというふうに、私は気になっているところです。

ですので、そういった点で、今回の両小野中の生徒たちの追究というのは、自分たちのやりたいとか、解決したいという気持ちの伝わってくる、さらには行動にまで移せているという、本当に目指していきたい探究の姿になっているのではないかなと感じまして、また、ぜひ他の中学校にもそういったところを広めていきたいなということを感じたところであります。

また、今回のみらい探究アワード、委員の皆様にも参加していただいた部分もあるので、もう十分御存じなことを繰り返してしまうのですが、中学生からすると、高校生とか大学生、社会人の方からも学ぶ機会が得られて、そういった点で、一堂に会しての発表会であったということが、学べる点でよかったのではないかと思います。中学生からすると、そういった機会で自分の進路や生き方を考える、いわゆるキャリア学習にもなっていたと思うので、これから先も、様々な子どもたちにぜひ積極的にこのアワードに参加してもらいたいなと思ったところです。このアワード自体を、私たちも大事にこれから育てていきたいなということを感じたところであります。それが1点目の報告になります。

2点目の報告になります。話題が変わりますが、両小野中学校の給食のことです。給食献立が、今日コピーしか持って来られなかったのですが、長野県学校給食会というのがありまして、その「学校給食に長野県産物を活用した献立コンクール」というのがありまして、そこで今年度、入賞しました。県内100件を超す応募があった中で、9つの学校や給食センター、その一つに両小野中学校の給食献立が選ばれたということで、お返ししますので見ていただければと思います。

今回入賞した献立は、塩尻市産のコシヒカリに塩尻市生まれのあやみどり大豆をたっぷり使用した混ぜ御飯「あやみどり大豆のごはん」ということのように。もう1つは、県産大豆を使用した豆腐を混ぜたミートボールに塩尻市のワインで煮詰めたソースをかけた「ミートボールの赤ワイン

ソース」、さらに、民話の「玄蕃之丞」にちなみ、県産大豆を使用した油揚げなどを使ったあえ物「油揚げのこんこん和え」とか、辰野町の酒造の酒かすを使った「酒かすちゃんこ汁」、さらにデザートは、塩尻市産ではないのですけれども、松本市産のブルーベリーだったようですけれども、そんな形で、ここら辺の地元で生まれたものをしっかり使っていた、工夫していただいたということで受賞したということですので御報告します。

これからも自校給食を行っていますので、ぜひ地元産の食材を積極的に活用した、しかも安心安全なおいしい給食ということを大事にしていきたいなというふうに感じたところであります。

私からの報告は以上になりますが、この1年間、全ての子どもたちを常に真ん中に置いて御尽力いただきました教育委員の皆様、また教育委員会事務局の皆様、また両小野中学校の先生方に、心より感謝申し上げます。私からの報告は以上になります。

それでは、委員の皆さんから、それぞれ参加されました行事や事業等についてお気づきの点がありましたら、御発言いただきたいと思いますと思いますが、よろしくお願いします。いかがでしょうか。

**両角教育長職務代理者** 先ほどの教育長のほうから話のあったアワードの関係で、私も行って聞いていたのだけれども、実はといいますか、学習がずっと1年間で、昨年と変えたのが、学年で学習していくという形に変わってきているのです。私は少し心配だったのです。なぜかという、1年生と2年生の担任の先生は初任です。1年生の担任が今年です。2年生が昨年なのです。自分のことを考えても、初任できちんとしたことがどれだけできるかという、なかなかできない。だから、ほとんど、このくらいまでできればいいかなと思ってはいたのですのですけれども、そこで動いたのが学校運営協議会です。その評価委員会というところで、各学年に入って、どんなふうに行っているか様子を見てくださと言われて、私も行きました。

私は1年生のところに入ったのですけれども、1人の初任の担任だけではなくて、そこに2人入っていて、先生方の相談と、私もいろいろつい言うてしまうので、こういうふうにしたほうがいいのかと言ったり、いろいろしながら、学習をどうやって進めていくかということ。それから、確かに一番大事なところは調べ学習で、今、パソコンとか、みんないろいろ調べられてしまうのです。調べられるのはいいのだけれども、先ほどの教育長の話にもあったのですけれども、私が考えるのは、それを確認したり、本当にそうかというようなことを、人と関わること、人を大事にしていけないといけないということで、それで今回、地図を作ったりとか、パンフレットを作ったり、いろいろしたのですけれども、そうしたら、その反応をまた渡したところへ、あるいはそれを使っている人に聞きに行ったらどうかということはあると思います。

そうすることによって、次の課題がまた見えてくると言いますか。それが実際に総合学習で今求めている、さっき教育長の言ったサイクルになっているわけですが、そのところが、うまくサイクルがうまく回り始めているかなというところは思ったので、そういう形を取って、アントレプレナー学習をやっているという、その部分は、新任でも今回みたいなことはきちんとできるというようなこと、あるいは新任でもと言ってはいけなかったのだけれども、そうではなくて、先生たちの協力体制の中で、きちんとそういうものができていたところを見せてもらったと言いますか。そういうことで私はすごく安心したというか、これからまた、もう少し突いてやれば、もっといい学習になってくるとは思っています。以上です。

**佐倉教育長** ありがとうございます。続いて、ほかの委員はいかがでしょう。

**小幡委員** みらいアワードの、私も発表のところを見せていただいたところですが、結構はつきりと発表できていて、発表の態度だけでもすごいなと思いました。それで、私の息子たちのときも、「ための時間」というのがあって、学習というよりは、太鼓を学んだりとかということはあるのですけれども、課題を見つけて探究していくところまでにはなっていないかと思

うので、その学習を続けてきて、ここに地域の課題もいろいろとあるので、そういうことも併せてだんだん発展してきているのかなということを思いました。

今、両角教育長職務代理者から聞くと、支えていく人たちというか、学運協の方とかも、熱心に子どもたちと関わってくださっているところが、子どもたちにとっても刺激になっているだろうなということを思ったのですけれども、自分も地域の一員として、そこまで関わるということがなかったのも、すばらしいなと思いました。

私、これは個人的ですけど、委員になっても、あまり子どもたちと直接関わる場所がなかったもので、卒業式は呼ばれてはいなかったのですけれども、ぜひ見せてくださいとお願いして、卒業式に出させていただいたのです。少ない人数ですが、子どもたちの成長というのが、議員もおっしゃっていたのですけれども、制服が小さくなって、体の成長もあったのですけれども、親でもないけれど、ぐっとくるような感動がありました。昔は、親も保護者の代表挨拶みたいなものがあって、親もすごくドキドキして行ったのですけれども、そういうところを省いても、すごく子どもたちの成長を見ることができたというのを感じました。

半面、17人だったけれども、全員が出席できなかったということを校長先生からも伺ったのですけれども、それでも、その子たちにはその子たちの課題があったり、達成感を感じることができたりする出来事もあったようなので、それがまた次の成長につながっていくのかなということを感じさせていただきました。

**佐倉教育長** ありがとうございます。ほかの話題でもいいので、委員方、いかがでしょうか。

**小澤晃委員** 私も、中学生が積み上げていく段階は、いろいろな関係で見えなかったのですけれども、探究アワードを目指していただいて、中学生から一般の企業の人までの発達段階というとおかしいけれど、それなりの段階的なものが見られて大変によかったと思いました。もっとたくさん、これは第1回目ですよ。いい試みだなと思ったわけです。

以前、私、両小野中に少しコーディネーターでお世話になっていたのですけれども、その頃は縦割りでいろいろでやっていたのだけれども、1年生、2年生は、3年生の先輩がやることを見て、言われたとおりに動いていたのですけれども、それが自分も同じようなところで考えていくということで、追い込まれたというとおかしいけれども、そういういい効果があったかと思いました。来年は第2回目もやりますか。

**上條学校教育課長** 今のところ予定しています。

**小澤晃委員** またお願いします。

**佐倉教育長** ありがとうございます。別の話題でも構わないのでお願いします。

**小澤秀樹委員** アントレプレナーは、両角代理からもあったのですが、自分から言うと、実は子どもがやっていたので、やはり親としての関わりを持たせていただいて、初めて1年生のときにアントレプレナーをしたときに、アントレプレナーという言葉すら分からず、調べて、単純に言えば、企業家、自分が社長になってもよい、それだけ何か物事を起こしていく、イコール探究心という意味なのかなと、勝手に解釈をしていたのですが、やはりおっしゃっていたように、縦だったのも、「はい」という答えをいただいたら、それに対してやるというところで、そこが今回よかったのかなという部分と、もう1つ、別の方にしたら、上下関係の中で生まれてくるよさもあるはずだとおっしゃっていることも出てきているのですが、上下関係という言葉からすると、それこそ地域社会がそれを教えていくようになっていく。もっと言えば、上に上がっていけば上がっていくほど、そういう社会になっていくと思うので、中学生ならではとして、私としては、横でやった関係というのは、また一つよかったのではないかと思います。

かといって、去年、今年、では来年縦に戻しますかというのも、それも大変なことだと思うので、

何かそこでうまく枠組みができていってくればなというところと、自分たちが今回、娘たちは、はしゃいでやってくれていたというのが少し見られていたかなというのと、やはり押してくれる方がいないので、せっぱ詰まった場面をかいま見るというよりはしょっちゅう見ていたので、これがいいのではないかなというふうに、私も納得ができた部分でも、親として思えたので、ぜひともというところと、発表にも行かせていただいて、都市大の場に行かせていただいて、初めて娘たちにしたら、あまり高校や大学のほうには入らないので、いい経験ができたなということと、私と父もその卒業だった過程もあって、娘に、高校はこういうところだよというところのよさと悪さを一緒に教えることができたので、ある意味いい体験。だからこそ、中学校で選抜されてくるところもあるかもしれないのですけれども、できるだけ多くの形で、年間の中で複数回発表する場があるとか、課題があっても、その場で定義をさせて、発表して、次、こういうことをしていきたいですという場面からの一年が始まってもいいのかなと思いました。小澤委員から言っていただきましたが、本当に続けていただけたらいいかなと思いました。

あと、給食のことで、自分で言うのも何ですが、娘は大好きで、学校に給食があるからこそ学校に行っているのではないかなと思うぐらいなところもあるのですが。こういった形でやっていただいている過程が、子どもたちにどう返っていつているのか分からないかなと思ったので、逆にここから、学校としては、塩尻市産のもの、こういうものをこういうふうにこうやって使っているよというのが、何か情報伝達、子どもたちに行くのですか。

**佐倉教育長** どうですか。学校でお昼の放送や何かで、今日の給食はこれこれ産ですとか、説明していることは両小野中ではいかがですか。

**富田両小野中学校長** 給食員のほうで、今日の食材はこういうもので、こういう人たちから仕入れていますとか、こういう人たちが作っていて、こういう思いを持っていますみたいなことがあったり、あと、生産者と一緒に給食を食べたりとか、そういうこともさせてもらっています。

**小澤秀樹委員** 分かりました。ありがとうございます。というのは、都会の話で、ネットに載っていた情報ですけれども、大根がスーパーになっている。売っているではなくて、なっているというお話から、今の子どもたちは、きちんとそういうところの理解を、こういうところに住んでいるので、分かっていると思うのですが、私も、畑仕事を通して子どもたちにどうしても教えたいこと、簡単に種さえ植えればできるのものではないのだよということから、少し勝手な教育方針でやっているところもあるので、給食ということも一つの教育の過程だと思うので、ぜひうまく使っていただけたらと思いました。よろしくお願いします。以上です。

**佐倉教育長** 給食も、食育という言葉も当然あるのですけれど、本当に大事な部分だと思うので、また今回の機会をうまく生かしていただければと思います。

そのほか、よろしいですか。私が探究のことを大分振ってしまったので、探究の話題に終始しましたが、ほかの点ではよろしいですか。ありがとうございました。

それでは、次に進めたいと思います。

## ○報告第1号 校長、教頭の人事異動について

**佐倉教育長** 初めに、報告第1号、校長、教頭の人事異動について、事務局から説明をお願いします。

**上條学校教育課長** それでは、お手元の事前配布資料を御用意いただければと思います。資料No. 1の1ページをご覧ください。令和8年度教職員人事異動名簿でございますが、両小野中学校にしましては、校長・教頭とも異動はございません。

なお、今年度末で退職される塩尻市内の校長につきましては1名、教頭は1名という形になってございます。説明は以上となります。

**佐倉教育長** 委員の皆さんから、見ていただきまして、何か御質問あればお願いしたいと思います。よろしいですか。

それでは、そのようになっておりますので、御承知おきいただければと思います。

それでは、次に進みます。

### ○報告第2号 令和8年度両小野中学校の休業日に係る専決報告について

**佐倉教育長** 続いて、報告第2号、令和8年度両小野中学校の休業日に係る専決報告について、事務局から説明をお願いします。

**上條学校教育課長** ただいまの資料の続きになります。2ページ目の横版資料を御覧いただきたいと思います。令和8年度の両小野中学校の休業日につきまして、教育長専決により決定しましたので報告するものでございます。両小野中学校の授業日数、一番右の欄に書いてありますが、来年度につきましては204日という形になってございます。説明は以上となります。

**佐倉教育長** 委員の皆さんから御質問、御意見ありましたらお願いいたします。よろしいですか。

富田先生、幾らか授業日が多いですが、何か理由はありますか。

**富田両小野中学校長** 授業日が多くなっているのは、2年生の職場体験の関係で、どうしても授業が多くなってしまいます。

**佐倉教育長** 職場体験、2日くらいですか。

**富田両小野中学校長** その2日だけ多くなってしまうという感じになっています。

**佐倉教育長** その分を抜けばという感じですかね。分かりました。

では、そのような形で御確認をいただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは御承知おきいただきまして、次に進みます。

### ○報告第3号 教育委員会事務局4月1日付人事異動について

**佐倉教育長** 続きまして、報告第3号、教育委員会事務局4月1日付人事異動についてですが、本日配付をいたしました当日配布資料と書かれた資料を御覧ください。事務局から説明をお願いします。

**百瀬こども教育部長** 私のほうから説明させていただきます。当日配布資料を1枚めくっていただきまして、見開きで両方のページを見ていただきたいと思います。左側が新しい組織、右側が現体制ということになります。教育委員会関係の、主立ったところだけお話をさせていただきます。

まず、こども教育部長ですが、私がこの3月をもちまして役職定年ということで、役職は降ろさせていただいて、その後任としまして、現在企画課長であります植野敦司が後任として参ります。

次に、直接教育委員会の業務に携わっております教育企画係になりますが、主事の瀧沢が異動となりまして、後任の事務員として武田が新規採用で配属になります。

以下、学校運営係に、栄養士の寺西が異動となりまして、後任としまして今井が参ります。

児童生徒支援係は小松補佐が異動になりますので、酒井が係長に昇任します。その下の表になりますが、指導主事の島津が異動になりますので、島津の代わりに新しく井出が参ります。

両小野中学校になりますが、学校栄養士の佐野が異動し後任に進藤が、給食調理員の福重が異動となりまして、高砂が後任として配属となります。

次に、教育施設課で胡桃が異動となり、後任として今福が、また、子ども未来課こども未来応援係で吉江健太郎の代わりに清水が配属となります。それからこども家庭相談係の青木が退職となり後任に赤堀が、北小野保育園になりますが、保育士の塚原が異動となりまして、新しく高砂が参ります。以上、こういう形で4月からスタートしますので、また一覧表を御覧になっていただければ

と思います。よろしくお願いします。

**佐倉教育長** それでは委員の皆さん、見ていただきまして、御質問、御意見ありましたらお願いいたします。よろしいですか。

そのような形で人事異動のほうが行われますので、お願いをいたします。

それでは、次に進みます。

#### ○報告第4号 教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について

**佐倉教育長** 続きまして、報告第4号、教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について、事務局から説明をお願いします。

**上條学校教育課長** それでは、別冊資料の3ページを御覧をいただきたいと思います。本計画を策定する趣旨につきましては、教育職員が教育に専念できる環境をつくり、専門性を高め、働きがいを持つことで学校教育の質の向上につなげるため、国の方針に基づき、いわゆる学校の働き方改革の推進に関する計画案を取りまとめたもので、報告するものでございます。

内容ですが、令和6年5月の中央教育審議会答申において、教員の働き方改革が処遇改善、指導体制の拡充、さらなる業務改善を一体的に進める必要があるとされました。これを受け、令和7年6月の教員給与特別措置法改正により、教職調整額の段階的引上げや残業時間削減の目標が示されると共に、市町村教育委員会に対して令和7年度中に業務量管理・健康確保措置実施計画の策定が求められました。こうした動向を踏まえ、塩尻市においても当該計画を策定いたしました。

次のページになります。4ページ目になります。これまでの塩尻市で行ってきた取組を掲載させていただいております。今後につきましては、4月から公表することとなっております。

実施計画の内容につきましては、5ページ以降に掲載しておりますが、本日は時間の都合上、各自御確認いただき、概要のみ説明させていただきます。塩尻市教育委員会が策定した市立学校教職員の働き方改革に関する実施計画（案）でございます。教員の「働きやすさ」と「働きがい」の両立を掲げ、長時間勤務の是正やICT活用による業務効率化、部活動の地域展開など、具体的な施策を提示しています。また、教職員のメンタルヘルスケアや休暇取得の促進、保護者からの過剰な要求への組織的対応についても明記しております。本計画は、教員が心身共に健康で専門性を発揮できる環境を整えることで、最終的に子どもたちのウェルビーイング向上につなげることを目的としております。令和8年度から4年間の計画期間を定め、数値目標の達成に向けた進捗管理や効果検証を継続的に行う方針となっております。

なお、塩尻市辰野町中学校組合教育委員会では、対象となる両小野中学校の教育職員数が少なく、一人の結果が全体の結果に大きな影響を与える可能性があることから、独自の計画は策定せず、塩尻市が策定した計画を準用するという形を取りたいと考えております。説明は以上となります。

**佐倉教育長** 委員の皆さんから、その場でぱっと見るのは大変かもしれませんが、御質問、御意見ありましたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

**両角教育長職務代理者** 働き方改革で学校職員が忙しいということで、いろいろなこういう動きがあったわけなのですが、私も幾つか学校を回って、両小野中学校は、中学校としては非常に先生方がきちんと早く帰ります。要するに、自分の時間をそれぞれきちんとつくって、そのときにももちろん学校の仕事をしているかどうかは、それは分かりませんが、とにかく早く帰ります。普通、中学校というと、部活動が終わる7時とか7時過ぎくらいから自分の仕事が学校で始まるので、9時、10時というのはざらなのですけれども、9時、10時までしっかり残っているという職員は、中学校には、時にはありますけれども、今ほとんどいない。そういうことがあるので、ほかの学校はどうか分かりませんが、昔から比べると非常によくなっているなということは思います。以上で

す。

**佐倉教育長** ありがとうございます。続いて、いかがでしょうか。

**小澤秀樹委員** 時間管理というところからすると、両小野中はタイムカードですか。

**富田両小野中学校長** そうです。

**小澤秀樹委員** では、ある意味自己申告制ですか。

**富田両小野中学校長** 職員室の入り口のところに、来るときにスタートで、出るときにストップという感じのタイムカードです。

**小澤秀樹委員** それぞれの企業からすると、自己判断というところがついてくると、俗に言う上司の見る目が遠ざかると管理ができないというところからすると、どうしても上司側からすると、すごく近寄ってずっと監視をするぐらいというところになってくると、やり方は何か変えていかなければいけないのかなと思ったのですが、今両角職務代理もおっしゃってもらったように、そういった形で帰っていただいている過程があるなら大丈夫かなというのと、今までやっていた仕事のこういう文化を何かものに変えて、残業を減らすという過程が確実に取ればいいのですが、まだそれが一個人の中でどうしても決まってくるというのと、どうしてもその采配は個人が、要は先生一人一人がやっていかなければいけないというのと、少しまだボリューム感があるのかなと思ったので、またそういったところが解決、うまくできていければなと思いました。意見としてそんなことで。

**佐倉教育長** ありがとうございます。なので、塩尻市、またこの組合としてもそうなのですが、全体でやれることと、あと学校全体でアイデアを出してもらってということもぜひ積極的にみんなでやっていこうというの、個人任せだけだと、やはり削れないと思うので、そんなところをぜひ大事に取り組んでいきたいと思います。ありがとうございます。

そのほか、いわゆる働き方改革に関わってですが、よろしいですか。

**小幡委員** 不当な要求等への対応というところが子どもたちのときもあったのですが、今先生たちがせっかく教師になって、意欲があつて来たのに精神を病んでしまうようなことというのは、両小野とかではあるのですか。

**佐倉教育長** いかがでしょうか。

**富田両小野中学校長** 私たちの若い頃は、基本的に学校にお任せするという感じの保護者が多かったのですが、今の保護者は思ったことは言うという、そういう感じです。保護者を目の前にして申し訳ありませんけれども、遠慮なく言います。

ただ、窓口を一人にしないというのが大事だと私は思っていて、今日何か問題が起こったといったら、私がいるときには私が同席、私がいないときには必ず教頭が同席、校長が受けるとか教頭が受けるというふうにしています。そうしないと、やはり矛先が担任に向いてしまうのです。担任に向くと、どうしても担任はダメージを受けてしまうので、校長や教頭がダメージを受けていけばいいのだから。流し方を知っていますので。なので、校長や教頭というのは、自分がダメージになる受け方をしないのです。でも若い先生たちは本当にダメージを受けてしまうので、そうすると、欠となるのは一番学校にとっては痛いことなのです。いなくなってしまうということが。それだけは避けるように。

でも、結構言いますよ、今のおうちの方は。結構電話でこうやって聞かなければいけないときがあるので。でも、聞けばおうちの人も満足してくれるし、というふうにしています。

**小幡委員** ありがとうございます。

**佐倉教育長** よろしいですか。

**小幡委員** はい。

**佐倉教育長** この件については、よろしいですか。ありがとうございます。

それでは、御承知おきいただきたいと思います。

次に進みます。

#### ○報告第5号 長野県公立高等学校入学者選抜の結果について〈非公開〉

**佐倉教育長** 続きまして報告第5号、長野県公立高等学校入学者選抜の結果についてですが、本日配付いただきました非公開資料と赤字で書かれた資料を御覧ください。

なお、報告第5号につきましては、個人情報等を含むため非公開といたします。御異議ありませんでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

**佐倉教育長** 異議なしと認めて、非公開とします。傍聴の方は特にいらっしゃらないということでしょうか。

それでは、富田校長先生から説明をお願いします。

#### 〈非公開部分削除〉

### 4 議事

#### ○議事第1号 塩尻市辰野町中学校組合教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則

**佐倉教育長** 続きまして、議事に入ります。続きまして議事第1号、塩尻市辰野町中学校組合教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について、事務局から説明をお願いします。

**上條学校教育課長** それでは、当日配布資料の17、18ページを御覧ください。改正の理由につきまして、国が示します部活動改革のガイドラインの改訂によりまして、「地域移行」という表記が「地域展開」に変更されたことに伴い、用語の整理を行うため改正を行うものでございます。なお、本改正は本年4月1日から施行するものでございます。説明は以上となります。

**佐倉教育長** それでは、質問等ございますでしょうか。よろしいですか。

では、そのような形で移行、展開という言葉を整理させていくということでしょうか。

**小澤晃委員** 1つだけいいですか。いろいろどんどん新しい言葉がいっぱい年ごとに来るのだけれど、移行と展開というのはどういうニュアンスで、言葉をそういうふうに変えたのかなと今思ったので、どなたか説明できる方。

**上條学校教育課長** 係長から説明申し上げます。

**小松学校教育課長補佐（児童生徒支援係長）** まず、地域移行というと、どちらかというと何か学校部活動を地域に丸投げするようなイメージがあるというようなことで、国のほうで最初、地域移行というので進めていたのですが、地域展開、展開というと、どちらかというと学校部活動を学校や地域みんなで、こうやって地域で子どもを育てるというような言葉だという捉えで、地域移行から地域展開というふうに変更したというふうに聞いております。

**佐倉教育長** よろしいですか。そのような形で、国のほうで変更したという形でよろしく願いしたいと思います。それでは、この件につきまして、よろしいでしょうか。ありがとうございました。

### 5 その他

#### ○その他第1号 塩尻市辰野町中学校組合議会附議案件について

##### ・議案第1号 令和8年度塩尻市辰野町中学校組合一般会計予算

**佐倉教育長** 続きまして5番、その他の報告に入ります。予算案件の議案第1号、令和8年度塩尻市辰野町中学校組合一般会計予算について、事務局から説明をお願いいたします。

**上條学校教育課長** それでは、この後の組合議会にお諮りする資料について説明いたします。お手元の予算（案）説明資料と、もう1冊、ピンク色の冊子があるかと思います。本日は時間の都合もございいますので、ピンク色の冊子は使用せず、予算（案）説明資料の2枚つづりの資料をご覧くださいければと思います。

それでは、1枚お目繰りいただきまして1ページ目を御覧いただきたいと思います。令和8年度予算になります。一般会計予算の概要でございますが、予算総額は前年度対比36.1%増の1億6,059万2,000円となります。増額の主な要因は、人件費の増加によるものでございます。

次のページ、2ページ目の表を御覧ください。歳入について、塩尻市及び辰野町からの負担金につきましては、前年度対比34.2%増、県支出金につきましては、生徒用のタブレット購入が今年度で終了したことにより81.8%の減、組合債は、給食備品購入に伴う公共施設等適正管理推進事業債の借入れにより前年度対比で皆増となっております。

その下、歳出の主なものにつきましては、総務費について、特別職報酬、公平委員報酬などに係る経費で、前年度対比、1万3,866%増となっており、増額の主な要因は、組合採用職員2名の退職に伴う経費を計上するものです。

その下の3になりますが、歳出の性質別における主なものについて説明いたします。人件費は、先ほど申し上げたとおり、組合採用職員2名の退職に伴う経費になり、前年度対比132.9%の増、維持補修費は営繕修繕料などで前年度対比36.6%の増となっております。補助費は、現在、塩尻市が自前で管理・運営しておりますサーバーのリース期間満了に伴い、国が進めるクラウド化へ移行するための負担金が生じることから、前年度対比109.7%の増となっております。普通建設事業費は、今年度実施した空調設備設置及びLED化に伴う実施設計委託が終了したことにより皆減となっております。

なお、先ほどお話ししましたピンク色の一般会計予算書につきましては、組合議会において説明させていただきたいと思っております。説明は以上でございます。

**佐倉教育長** それでは、この議案に対しまして質問等ありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは、次に進みます。

## ・議案第2号 令和7年度塩尻市辰野町中学校組合一般会計補正予算（第1号）

**佐倉教育長** 続きまして、予算案件の議案第2号、令和7年度塩尻市辰野町中学校組合一般会計補正予算（第1号）について、事務局から説明をお願いします。

**上條学校教育課長** 補正予算について説明いたします。議案書のピンク色の冊子の後ろに、第2号議案があるかと思います。まず、そちらの表紙をご覧ください。今回の補正は、事業費の確定及び決算見込みに伴う減額、また、国の補正予算に対応する事業の実施による増額を反映し、予算総額を歳入歳出それぞれ1億44万5,000円増額し、2億1,840万1,000円とするものでございます。

中をめくっていただきまして9ページ、10ページを御覧ください。歳入の1款1項負担金につきましては、塩尻市及び辰野町共に減額しており、主な理由は決算見込みなどによるものでございます。

また、その下3款1項国庫補助金及び8款1項組合債につきましては、国の補正予算に対応する事業の実施に伴う増額となっております。なお、事業の詳細につきましては、この後、教育施設課長から説明させていただきます。

**五味教育施設課長** では、続きまして、補正予算の説明資料、1枚になります。こちらのほうを説明させていただきます。

上段になります。中学校空調設備設置事業 4,960 万円余の増額につきましては、こちらは国の補正予算による交付金を活用しまして、空調設備がまだ未設置の家庭科室や美術室等の特別教室、それから給食下処理室等に空調設備を設置するための工事費及び工事監理業務委託料になります。

次に下段、中学校照明設備 LED 化推進事業 5,374 万円余の増額につきましては、同じく国の補正予算を活用して、校舎及び体育館などの照明設備を LED 照明に更新するための工事費と工事監理業務委託料になります。私の説明は以上になります。

**佐倉教育長** それでは、この議案に対しまして御質問等ありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは、次に進みます。

## **○その他第 2 号 令和 8 年度年間予定について**

**佐倉教育長** 続きましてその他第 2 号、令和 8 年度年間予定について、事務局から説明をお願いいたします。

**上條学校教育課長** 最後の説明になります。事前配布資料の最後のページ、資料 No. 6 を御覧いただきたいと思います。令和 8 年度塩尻市辰野町中学校組合教育委員会の年間予定表でございます。教育委員の皆様全員に出席をお願いするもののみ、お伝えいたしますので、それ以外につきましては御確認を各自お願いいたしたいと思います。

まず、6 月 29 日月曜日 13 時から北小野地区センターにおいて組合教育委員会及び議会を、9 月 28 日月曜日 12 時 20 分から小野農民研修センターにおいて組合教育委員会・総合教育会議及び議会を、令和 9 年 3 月 24 日水曜日になりますが、13 時から北小野地区センターにおいて組合教育委員会及び議会を予定しておりますのでお願いいたします。説明は以上となります。

**佐倉教育長** それでは、この案件について御質問、御意見ありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

では、そのようにお願いをいたします。

## **6 校長報告**

### **○報告第 1 号 全国学力・学習状況調査の結果について**

**佐倉教育長** では続きまして、7 番、校長報告に入ります。富田校長先生、本当に大変申し訳ないのですが、進行が悪くて時間が押してしまったので、説明のほうを、という形で申し訳ありません。お願いいたします。

では、最初に報告第 1 号、全国学力・学習状況調査の結果についてですが、説明をお願いいたします。

**富田両小野中学校長** 日頃より温かい御支援、本当にありがとうございます。おかげさまで全国学調の結果も、よく子どもたち頑張ったなという結果を見ることができました。

国語では、読解力がとても高い数値になっております。ただ、逆に書くというところで県平均を下回るという形になってしまいました。そこに課題があるかなというふうに思います。数学は全科目で大体平均を上回ることができましたが、図形が大きく下回っていますので、トータルすると平均くらいになってしまうという状況で、空間認識というのはしっかり押さえていかなければならないということ、理科も全体的によく頑張ったのではないかなという結果になりました。全学調の結果については以上になります。

**佐倉教育長** ありがとうございます。御質問等、よろしいでしょうか。ありがとうございます。

続きまして、両小野中学校の様子について富田校長先生から報告をお願いします。

**富田両小野中学校長** 22 ページになりますが、一部訂正をお願いします。2 番、進路関係のところ、男子 7 名になっていますが、男子 9 名、女子 8 名、計 17 名です。失礼いたしました。

吹奏楽部のほうも、地区大会を突破して中信大会まで進むことができました。よく頑張っているなと思います。

進路についても、先ほど述べさせていただいたとおり、全ての子が進路を実現することができました。よかったかなと思っています。

3 番のアワードについても、ここにあるとおりの報告をさせていただきます。1 年生は優秀賞ということでもらったのですが、2 年生が頑張って徒歩マップというのをあそこでも発表したのですが、完成してきまして、結構いいやつができました。誇らしげなものができましたので、また後で空いている時間にでも御覧になっていただければと思います。本当に出た子たちにとってはいい経験だったかなと思っています。ありがとうございました。

あとは次、ボランティアの認定制度を始めて 1 年半になるわけですが、子どもたち、本当によくその表にあるとおり、A から Z まであるのですけれども、全員違う子ですので、これだけの子が外に出ていって活動しているということになります。夏休みも本当に子どもたちがたくさん外に出て行って、3 年生に至ってはほとんどの子たちが認定証を頂くことができました。地域でそういう活動を受け入れてくれるということがありがたいですし、子どもたちが外に出て行って自分の有用感というのを持っていてくれているということは、私にとっては、未来を担う子どもたちの育成というのがうまくいっているのかなというふうに思っています。ありがたいことだなと思います。

10 月以降も、そこにある様々な行事をうちの学校はやっていっています。最後、こんなにあったのだなということで写真を載せさせていただきました。子どもたちは一つ一つの行事の中で大きく育っています。ありがとうございました。以上です。

**佐倉教育長** 急がせてしまって申し訳ありませんでした。ありがとうございました。委員の皆様から御質問等ございますでしょうか。

**小澤秀樹委員** そのマップなのですが、娘のほうにも相談させてもらっていたのですが、もしできたら、どこかお店のところに、このマップに対するアンケートを取らせてもらって、次に自分たちがどうしなければいけないのかということを、そこから探る手だてができないかという、答えではなくて、あくまでも一つの要素として、自分たちが次の手段を選ぶ何かをそこから得てみないかという話をしてあるのですが、これをどういうふうに来年生させるか、もしくは新しいことをやるかは分からないのですが、できたら、そのマップをもっともっといいものに置き換えて作り替えていくくらいな意味を持たせてもらって、中学校でこの両小野全体をよくしていくことにしてもらえたらなと思ったので、参考意見としてよろしく願いいたします。

**佐倉教育長** よろしく願いします。そのほか、いかがでしょうか。

進行が悪くて、延ばしてしましまして申し訳ありませんでした。また十分に御意見を頂けず、申し訳ありませんでした。

そのほか、事務局で何かございますでしょうか。

**瀧沢学校教育課教育企画係主事** 本日配付しましたマル秘と書かれた案件につきましては非公開案件となりますので、この後回収をさせていただきます。机の上に置いたままにさせていただくようお願いいたします。私からは以上です。

**佐倉教育長** よろしく願いします。

委員の皆様からも、よろしいでしょうか。

## 7 閉会

**佐倉教育長** ありがとうございました。それでは、以上で本日の教育委員会を閉会いたします。大変お疲れさまでした。ありがとうございました。

○ 午後13時55分に閉会する。

以上

塩尻市辰野町中学校組合教育委員会会議規則第17条第2項の規定により署名する。

教 育 長

同職務代理者

委 員

委 員

委 員

記 録 職 員  
学校教育課教育企画係